

株式会社どうこい

児童発達支援・放課後等デイサービス 支援プログラム

田圃① 田植え

- 「一人一人にそれぞれのフツウ」
- 自分で感じ・考え・選び・決める・行動する
- 視覚的・具体的・肯定的なコミュニケーション

取組み	①健康・生活	②運動・感覚	③認知・行動	④言語・コミュニケーション	⑤人間関係・社会性	家族支援	地域支援
着替え	■田植えに適した服装を選択し、着替える。	■姿勢の保持。	■作業内容を把握した上で水着になる。裸足(靴下可)になる。				
オリエンテーション			■1日の予定を把握する。■「畦際を踏むと水が漏れて稲が枯れるので、畦際を壊さないように歩く」を理解する。■水が流れている場所は、軟弱なため、危険であると同時に、道や畦を破壊する可能性があるため近づかない。■手洗いなどは決められた場所で行う。	■説明を理解する。※おめめどう視覚的支援ツールを活用	■田圃仕事は神様への祈りである。■地主さん、村のみなさんの配慮・協力のお陰で田植えが出来る。■これらを理解し、感謝する。■水場や畦を護ることで、水害を未然に防いでいることを理解し、環境保全に努める。	■オープンフィールドのメニューとして位置づけ、ご家族と一緒に落ち葉集めを楽しむ。	■イベント化し、地域のみなさんと一緒に落ち葉集めを楽しむ。
田圃に入る	■棚田を渡る風、陽射し、田圃の泥の感触、など棚田の自然を体感する。	■泥に足を浸ける。■泥の中で立つ。■泥の中で歩く。※汚れに対する拒否感が強い場合は、畦道から植える。	■「畦際を踏むと水が漏れて稲が枯れる」ので、畦際を壊さないように歩く。	■体感したことを言語化する。■身体表現する。■歌で表現する。			
苗を分ける		■苗を折ったり握り潰したりしない力加減で、苗束を持つ。■苗束から苗を3本数える。■根を千切らないように取り分ける。■株元を人差し指と中指で保護するように苗を持つ。					
苗を泥に植える		■定規の目印の手前に植える。■手首の深さまで泥に挿す。■挿し終えたら、苗から指を離して、泥から手を引き上げる。		■苗が足りなくなったらスタッフに追加をお願いする。	■3人一組で植えるので、他の2人、及び対面するスタッフと調子を合わせる。		